

yagotosanbunko

八事山文庫

2025・冬
第八十五号



新年を迎える

住職 西部 法照

来る年は、暦の上で令和8年丙午（ひのえうま）の年です。丙は『十干』、午は『十二支』を表していますが、十干は10年サイクル、十二支は12年サイクルで巡る暦です。ですから10年と12年の最小公倍数60年前が同じ丙午年に当たります。世俗的には、丙午年生まれの女性は気が強いとか、兎や角云われたりすることもあります。それは全くの俗説で、60年経つと暦年が元に戻ることからこれを還暦と言います。伝統的な習俗では赤いチャンチャンコを着てお祝いをしました。つまり、赤子に戻って2順目の人生の始まり、と享け止めたのでしょうか。

さて、還暦ならずとも新年、元旦を迎えるということは、大人にとっても子供にとっても何かしら清々しく、あらたまった気持ちになるものです。

朝の日の出はなにも元旦だけではありません、毎日迎えることができます。しかし、新年の日の出は特別な日の出、何かしら清々しく感じられる、何故でしょう。それは、私たちは生きているからなのです。生命

とはそういうこと、生きているとはそういうことなのです。

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」とは、『平家物語』冒頭の有名な二節ですね。

西洋でも、ビクトル・ユーゴーの名作に『レ・ミゼラブル』あゝ無情があります。

しかし、よく見ると「無常」と「無情」の異なりに気づきます。「無情」の方は、字のごとく情け無い、しかし、諸行無常は「全ては常ならず」であり、変化し続けていることを示しています。

時節の小さな変化を見事に捉えた一首が藤原家隆にある。

「花をのみ待つらむ人に山里の雪間の草の春を見せばや」

おそらくは、スマレ草であろうか、小さな雪の割れ目からその可憐な姿を覗かせている。作者は、そこに小さな幸せを感じている、数百年の星霜を経た今日においても未だその優しさと安らぎが伝わって、ほのぼのとしたものを感じさせてくれる。

興正寺で迎える年末年始

年末イベント

「やぐとのべったん」

十二月二十七日、二十八日に年末イベントを開催。
餅つき体験（販売もあり）、子ども限定菓子まき、
謎解きスタンブラリー、キッチンカーも出店します。
※詳細は十月末頃、ホームページ等で告知します

除夜の鐘

除夜とは大晦日の夜のことです。深夜0時をまたぐ
時間帯に梵鐘をついて邪気を祓います。そしてこの
一年に感謝をし、新たな年を迎えます。

日 時 十二月三十一日（水）二十三時～
参加費 百円（護摩木付）
受付場所 光明殿入口付近
申 込 当日



圓照堂の参拝について

左記の期間は、お位牌・お骨出しのご予約はお受けできませんのでご了承ください。
期間／十二月三十日（火）～一月五日（月）

幸せへとつながる祈りの場として

杉浦 宣秀 僧侶

年末年始は、一年を振り返り、新しい年の平安を願う大切な節目です。興正寺では、餅つき、除夜の鐘、初詣、書き初めなどの行事を通じて、ご家族が集い、共に祈りを分かち合う大切な機会として、皆さまをお迎えしています。

新たに建立された密厳堂では、一年を通じて毎日ご祈祷を受け付けています。ご祈祷は仏さまに願いを託し、心の不安や執着を手放す修法です。護摩の炎は仏さまの智慧と力の象徴であり、炎

に願いを託すことで仏さまのお力として受け入れられ、煩惱から解かれ心が清められるのです。

「ご祈祷は「自分だけの幸せ」ではなく、「周囲と共に生きる幸せ」を育むもの。家族や地域が幸せであれば、そこに暮らす自身も自然に幸せに包まれる。これこそが密教の祈りの心です。

この日々の祈りが壮大な形となつてあらわれるのが、晩秋十月に催される「八事の火まつり／千燈供養会」です。興正寺最大の行事で、真言宗秘奥の柴燈大護摩祈祷を盛大に執り行います。炎と祈りが一体となる荘厳なる光景は、多くの方の心を打つものです。

人は皆、日々の暮らしの中で迷い、苦しみ、不安を感じながら生きています。そんな時こそ、お寺の門をくぐってください。誰かと出会い、手を合わせ、少し心をほぐく時間が、きっとあなたを支える力になるはずです。

招福の「飾り絵色紙」

順風満帆の宝船に乗り、大日如來の光に向かつて船出するめでたい「千支色紙」です。皆さまの元に福を運ぶよう御祈祷してあります。縁起物としてお飾りください。
飾り絵色紙 千円



新年千支成満巡り（ガイドなし）

諸堂に祀られている十二支の守り本尊を参拝します。納経所に地図が用意してあります。「飾り絵色紙」がご利用できますので、ご自身で朱印を押しながら巡ってください。

日 時 一月一日（木・祝）～四日（日）
十時～十四時頃
※ガイド付千支巡り 毎月五日、十三日十時より

書初め

書初めの歴史は古く平安時代までさかのぼります。初詣のあとで、新年の抱負を書いてみませんか。

日 時 一月一日（木・祝）～三日（土）
十時～十五時（受付は十四時まで）
場 所 光明殿二階 大ホール
参加費 おひとり五百円

新年初護摩祈祷会

家内安全・身体健全・商売繁昌などの皆様の願いと新たな年の平穩無事を御祈願いたします。

日 時 一月一日（木・祝）～四日（日）
十時～十一時／十三時～十四時／十五時
場 所 密厳堂

※一月一日十時はいりません。
※受付は、各回十五分前にお済ませください。

企業祈祷

新春を迎えるにあたり商売繁昌、社運繁栄、作業安全、社員健康など、個別に御祈願いたします。社員の皆様どうぞご参加ください。

日 時 一月一日（木・祝）～二月二十八日（土）
お時間はご相談下さい。
祈祷料 三万円より
五万円より 二十名様以上
十万円より 三十名様以上



興正寺の節分・星祭

節分厄除祈禱会

節分とは立春の前日のことです。古くは立春から新年が始まるとされ、新年を前に豆をまいて鬼を祓い福を呼び込む行事が行われてきました。興正寺では、豆をまいて厄を祓い御祈禱いたします。

日 時 二月三日(火) 十三時／十八時

祈 禱 料 五千円(厄除祈禱福豆、マス付)

厄年の方 一万円(厄除祈禱福豆、マス、餅まき、恵方巻付)

申込期限 郵便・WEB 一月二十五日(日)

来 寺 当日

※厄年の方で当日申込の場合、恵方巻は付きませんのでご了承ください。



星祭開運祈禱札

「星祭開運祈禱札」は、自身にふりかかる難を代わりに受けて災厄を小さくする守り札です。密教占星術(宿曜経)を基に皆様のそれぞれの九曜星を供養した祈禱札を授与いたします。吉凶は年齢早見表を「ご確認ください」。

申込期限 郵便・WEB 一月二十五日(日)

来 寺 一月三十一日(土)

受渡し 二月五日(木)～三月五日(木)
九時～十七時 納経所にて



①約20cm ②約30.5cm ③約38.5cm
④約45.5cm ⑤約54.5cm ※御札の寸法は目安です。

紙札 ① 五百円

小木札 ② 千円

中木札 ③ 三千円

大木札 ④ 五千円

特別木札 ⑤ 一万円

特別木札 ⑤ 三万円(諸曜総咒を記します)

特別木札にはご本人の九曜星を記し、西山本堂内に一年間お名前をあげさせていただきます。

※御札の種類に関わらず、施主名が裏書されます



令和八年 厄年・数え年表

くようせい 九曜星	らごうせい 羅喉星	どうようせい 土曜星	すいようせい 水曜星	きんようせい 金曜星	にちようせい 日曜星	かようせい 火曜星	けいとせい 計都星	げつようせい 月曜星	もくようせい 木曜星
吉凶	● 大凶	◐ 半吉	◑ 末吉	◑ 半吉	○ 大吉	● 大凶	● 大凶	○ 大吉	○ 大吉
きゅうせい 九星	いっばくすいせい 一白水星	じこくどせい 二黒土星	さんぺきもくせい 三碧木星	しろくもくせい 四緑木星	ごおうどせい 五黄土星	ろっばくさんせい 六白金星	しちせきさんせい 七赤金星	はっばくどせい 八白土星	きゅうしかせい 九紫火星
	令8年/2026 1 うま	令7年/2025 2 へび	令6年/2024 3 たつ	令5年/2023 4 うさぎ	令4年/2022 5 とら	令3年/2021 6 うし	令2年/2020 7 ねずみ	令和元年/2019 8 いのしし	平30年/2018 9 いぬ
	平29年/2017 10 とり	平28年/2016 11 さる	平27年/2015 12 ひつじ	平26年/2014 13 うま	平25年/2013 14 へび	平24年/2012 15 たつ	平23年/2011 16 うさぎ	平22年/2010 17 とら	平21年/2009 18 うし
	平20年/2008 19 ねずみ	平19年/2007 20 いのしし	平18年/2006 21 いぬ	平17年/2005 22 とり	平16年/2004 23 さる	平15年/2003 24 ひつじ	平14年/2002 25 うま	平13年/2001 26 へび	平12年/2000 27 たつ
	平11年/1999 28 うさぎ	平10年/1998 29 とら	平9年/1997 30 うし	平8年/1996 31 ねずみ	平7年/1995 32 いのしし	平6年/1994 33 いぬ	平5年/1993 34 とり	平4年/1992 35 さる	平3年/1991 36 ひつじ
	平2年/1990 37 うま	平成元年/1989 38 へび	昭63年/1988 39 たつ	昭62年/1987 40 うさぎ	昭61年/1986 41 とら	昭60年/1985 42 うし	昭59年/1984 43 ねずみ	昭58年/1983 44 いのしし	昭57年/1982 45 いぬ
	昭56年/1981 46 とり	昭55年/1980 47 さる	昭54年/1979 48 ひつじ	昭53年/1978 49 うま	昭52年/1977 50 へび	昭51年/1976 51 たつ	昭50年/1975 52 うさぎ	昭49年/1974 53 とら	昭48年/1973 54 うし
	昭47年/1972 55 ねずみ	昭46年/1971 56 いのしし	昭45年/1970 57 いぬ	昭44年/1969 58 とり	昭43年/1968 59 さる	昭42年/1967 60 ひつじ	昭41年/1966 61 うま	昭40年/1965 62 へび	昭39年/1964 63 たつ
	昭38年/1963 64 うさぎ	昭37年/1962 65 とら	昭36年/1961 66 うし	昭35年/1960 67 ねずみ	昭34年/1959 68 いのしし	昭33年/1958 69 いぬ	昭32年/1957 70 とり	昭31年/1956 71 さる	昭30年/1955 72 ひつじ
	昭29年/1954 73 うま	昭28年/1953 74 へび	昭27年/1952 75 たつ	昭26年/1951 76 うさぎ	昭25年/1950 77 とら	昭24年/1949 78 うし	昭23年/1948 79 ねずみ	昭22年/1947 80 いのしし	昭21年/1946 81 いぬ
	昭20年/1945 82 とり	昭19年/1944 83 さる	昭18年/1943 84 ひつじ	昭17年/1942 85 うま	昭16年/1941 86 へび	昭15年/1940 87 たつ	昭14年/1939 88 うさぎ	昭13年/1938 89 とら	昭12年/1937 90 うし
	昭11年/1936 91 ねずみ	昭10年/1935 92 いのしし	昭9年/1934 93 いぬ	昭8年/1933 94 とり	昭7年/1932 95 さる	昭6年/1931 96 ひつじ	昭5年/1930 97 うま	昭4年/1929 98 へび	昭3年/1928 99 たつ

厄年とは一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れが多い年齢をいいます。
厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることができます。 ※真言宗では男女共通の厄として考えます。
赤字厄年：厄払い祈禱をおすすめします **特に注意**：大凶・体力低下を起こしやすい年齢なので要注意 **前厄**：本厄の前年で、注意が必要と言われています

令和8年 年忌早見表		1周忌	令和7年逝去	3回忌	令和6年逝去
7回忌	令和2年逝去	13回忌	平成26年逝去	17回忌	平成22年逝去
27回忌	平成12年逝去	33回忌	平成6年逝去	50回忌	昭和52年逝去
				100回忌	昭和2年逝去

行事のご案内



1／大日堂すすはらい 2／成道会 3／文化財防火デー消防訓練

大日堂すすはらい
興正寺の総本尊である胎藏界大日如来様に、報恩謝徳の心をこめてすすはらいをつとめます。

日 時 十二月八日(月)
十二時半～ ※二時間程度

場 所 西山本堂

日 時 十二月一日(月)～
十三日(土)
八時半～／十五時半～
※五日(金)、十三日(土)は
八時半～／十時半～

三千仏名会
三千仏とは、過去・現在・未来の三世に出現する諸仏のことです。興正寺では人々が知らず知らずのうちににおかしてしまった罪を僧侶が礼拝、懺悔します。三千仏の御名を唱えながら五体投地礼を行い、身も心も清らかになります。この法会を現在も行っているところは少なく、次世代へ受け継ぐべき大切な仏教行事です。

**文化財防火デー
消防訓練**
国指定重要文化財「興正寺五重塔」を含む境内のお堂と参拝者の安全を守るため、毎年文化財防火デー(二月二十六日)の頃に消防訓練を実施しています。訓練は見学できますが、天候により中止することがあります。

日 時 一月二十三日(金)
十時～十時半

場 所 五重塔前広場

成道会
お釈迦さまは「生老病死」の四苦を受け止め、この年の安らぎを得る為六年もの苦行を続けられました。苦行では安らぎを得られないと感じ、苦行を止め、身体を癒やし、菩提樹の木のもとで座禅に入ることになり、悟りを開かれました。お釈迦さまの悟りを讃え実践するための法要です。

日 時 一月七日(水) 十三時～

場 所 西山本堂

お寺で サंगा

「お寺に集い、活動することにより、豊かな時間を重ねる機会としてもらいたい」という思いから、サंगा(＝集う)を企画しました。



仏教行事に携わる
準備や仏器の手入れ など

行催事に携わる
春・八事の森の春まつり
夏・盆踊り
秋・千燈供養会
冬・餅つき など

境内整備に携わる
結界の交換
柵の補修
竹の整理と活用
草ひき など



まずは説明会に行ってみよう

11月28日(金) 14:00～15:00

申込： 来寺(納経所)、電話
WEB(講座カレンダーより)



講座・催し
WEB申込

六月

- クラブツーリズム(拝観)
- 茶の湯体験 (アメリカ・ドイツ・オランダ)
- 茶の湯体験 名古屋大学留学生
- 茶の湯体験 (オランダ)
- 企業研修 阿息観体験

七月

- 仏像拝観 梶山女学園大学
- 茶の湯体験(日本)
- 企業研修 阿息観・茶の湯体験
- 夜の虫観察会 (昭和区役所)
- 外国人向け境内ツアー＆茶の湯体験(カナダ)

八月

- 企業研修 阿息観・茶の湯体験

行事のご報告

ランドセル加持祈祷会

六年間を共にするランドセルに仏さまの加護を授け、御守りいただくための御祈禱をいたします。
加持とは、諸仏の守り念ずる力と仏さまを信じて手を合わせることで生ずる力のことです。
身体健全・交通安全・学業成就・良縁成就を願い、より良き学生生活になるよう御祈願いたします。



祈禱料 一万円より
授与品 組紐守り
日時 毎日 十一時～十四時
場所 密厳堂
申込 御祈禱を希望される当日の開始十五分前までに「納経所」へお越しください



ランドセル 祈禱会

催事のご案内

八事山仏教文化研究所公演 真言を歌う 「要予約」

般若心経の「ギャーテーギャーテー」や光明真言はサンスクリット（梵語）です。神や仏に対する「呼びかけ」である真言（マントラ）の解説の後、歌でその響きを体感ください。

出演 歌 松本美緒
解説 立川武蔵

日時 十一月十五日（土）
十六時～十七時半
場所 ライブラリーサロン華宮
参加費 三千円（ドリンク＆菓子付）
申込 電話・WEB受付

藤村潔講演会「要予約」
大乘仏教の「信」とは
―『大乘起信論』を読む―
論書『大乘起信論』を元に、大乘仏教を信ずる根拠について皆さんと尋ねていきます。

講師 藤村 潔
（同朋大学文学部非常勤講師）

日時 二月二十一日（日）
十三時半～十五時
場所 光明殿大ホール
参加費 千円
申込 電話・WEB受付



普門園拝観（室礼）
マルシェ茶席



講座・催し
WEB申込



1／真言を歌う 2／藤村 潔 講演会 3／福豆茶席 4／新年の室礼

季節の室礼 「予約優先」

茶室竹翠亭で季節を感じる室礼をご覧ください。寺の宝物もお楽しみに。

日時 師走の室礼
十二月二日（火）～八日（月）

新年の室礼
一月四日（日）～七日（水）

節分の室礼
一月二十九日（木）～二月四日（水）

十日～十六時（最終入館十五時半）

場所 竹翠亭

拝観料 五百円 ※拝観券提示でライブラリー・サロン華宮での抹茶割引あり

申込 普門園拝観予約より

興正寺月釜 「当日可」

日時 十二月二十日（土）受付／九時～十四時

場所 竹翠亭 受付／西山本堂横

茶券 二席二千円

懸釜 本席／表千家 谷口宗久
添席／興正寺担当

迎春呈茶 「要予約」

三が日、竹翠亭はおめでたい室礼でお迎えします。お正月菓と金粉入りお抹茶で新年をお祝いください。

日時 一月一日（木）～三日（土）十時～十六時

場所 竹翠亭

拝観料 千円（金粉入り抹茶と迎春菓）

申込 普門園拝観予約より

はつ春の席 「要予約」

新春を寿ぎ、お茶を通じて結んだ縁の長きを願って、濃茶を「服さしあげます」。

日時 一月二十一日（水）
十時～十二時／十二時

場所 竹翠亭

茶券 千五百円

申込 普門園拝観予約より

福豆茶席 「要予約」

ほうじ茶釜の中の豆を自身でくつて、皆で笑い、福を呼ぶ楽しいお席です。

日時 二月三日（火）
十時～十二時／十三時～十四時

場所 竹翠亭

茶券 千円

申込 普門園拝観予約より

マルシェ茶席 「要予約」

僧侶のお点前によるお茶席です。初めてのの方も楽しめます。

十二月二十一日（日）
二月二十一日（土）

十時～十二時／十二時

場所 竹翠亭

茶券 千円

申込 普門園拝観予約より

縁日【毎月】

ガイド付干支巡り
毎月5日・13日 本堂前 10時より



28日	不動明王	不動護摩堂	10時30分
24日	地藏菩薩	能満堂	13時
21日	弘法大師	弘法堂	10時30分(マルシェ)
18日	観世音菩薩	観音堂	13時
15日	阿弥陀如来	東山本堂	13時
13日	虚空蔵菩薩	能満堂	10時(露店)
8日	大日如来	大日堂	12時30分
5日	大随求明王	西山本堂	10時(露店)

講座一覧

講座WEB申込



講座名	講師	開催日時	場所	支具料	申込
住職と語らう一方向の会	西部法照住職	12/24 1/28 2/25 10時～12時	ライブラリーサロン 華宮	1,000円 呈茶付	予約優先 公式サイト 講座カレンダー
阿息観	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 14時～16時 (12/30休)	観音堂	無し	不要
遊翠の心・阿息観	西山海良僧侶	12/23 1/27 2/17 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・写経	西山海良僧侶	12/9 1/20 2/10 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
写経写仏 はじめて講座	興正寺僧侶	毎月21日マルシェの日 11時～13時半	光明殿大ホール	1,000円	不要
御詠歌入門講座	鈴木智弘僧侶	12/6・20 1/17・24 2/7・15 はじめての方 12/27・1/31・2/28 14時～16時	光明殿小ホール	無し	不要
曼荼羅講座(全10回)	中道圭照僧侶	12/6(光明殿) 1/10 2/14 14時～16時	普照殿「暁堂」	1,000円 呈茶券付	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・きもの装い	竹翠亭職員	12/3・10 1/7・14 2/4・18	耕雲亭	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー
TERA-YOGA	西口のぞみ	毎月21日 10時～11時半、13時～14時半	観音堂	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー
梵字悉曇 基礎からの梵習字	加藤光映 (福楽寺住職)	11/20 13時～16時	普照殿「暁堂」	3,000円 道具・材料別	要 公式サイト 講座カレンダー

- 【お知らせ】
- ・ 合同供養祈祷は毎日11時、14時に密厳堂でおこなっています。
 - ・ 令和8年カレンダーの配布限定数、配布は12月5日(金)より。場所納経所(8時～17時)
 - ・ 100年、1000年お寺を守り伝えるために、皆様からのお気持ちを大切にさせていただいています。ご相談は僧侶が承ります。

2025・冬

令和7年10月21日発行
発行所 八事山興正寺

TEL 052-832-2801

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78番地

<https://www.koushoji.or.jp>

興正寺 検索



公式サイト